

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	静岡県立大学の男女共同参画における地域ジェンダー平等推進と男女共同参画拠点連携事業に関する基礎研究				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	犬塚 協太
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	渡邊 聡
		所属・職名	国際関係学部・助教	氏名	青山 知靖
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	犬塚 協太

講演題目	静岡県立大学の男女共同参画における地域ジェンダー平等推進と男女共同参画拠点連携事業に関する基礎研究
------	---

研究の目的、成果及び今後の展望

【目的】男女共同参画社会の実現に関し、特にコロナ禍以降地域における男女を取り巻く状況は、生活や労働のさまざまな局面で多くの困難な新規課題を抱えつつある。こうした現状をふまえ、本研究は、特にA.地域におけるジェンダー平等推進と男女共同参画地域拠点施設を中心とする地域各アクター連携事業に関する先進的事例に関する事例資料、およびB.そうした地域拠点施設と大学との連携事業に関する特徴的事例に関する事例資料に基づく実証的研究を行うことを目的とした。

【成果】今回の調査の結果、地域の各アクターが上記の目的に沿って実施する連携事業展開は、コロナ禍以降の社会変化に即してより進化した形で行われている実態が確認されたが、このうちA.についてはさらにA-1.地域女性リーダー育成に関わる事業と、A-2.何らかの困難を抱える女性の支援に関わる事業に大別することができることが明らかとなった。A-1について特に注目されるのは、近年日本のジェンダー平等に関する国際的な遅れが顕著な政治分野、経済分野への女性参画をテーマとする事業が増加してきていることである。その中には、身近な視点からの社会参画の端緒をつかむための女性人材育成事業(東京都大田区)など基礎的なレベルの取組から、より主導的な女性リーダー育成を企業領域においてめざす事業(愛知県)や、さらには女性政治家を巻き込んでより実践的に政治領域においてめざす事業(福岡県)などより高度なレベルの取組まで、多彩な展開がみられることが注目される。またA-2についても、地域拠点施設が、近年の女性の抱える生活や労働条件の複雑化に対応して多様な各種事業を推進している実情が明らかとなった。その中でも、コロナ禍の長期化とシングルマザーの困窮化との関係をより実証的に掘り下げて課題抽出を行った調査研究事業(岩手県盛岡市)や、同じくシングルマザーの経済的自立をめざした自立支援事業(兵庫県明石市)、さらには男性の生活自立支援事業(岡山県)(兵庫県姫路市)などに、近年の新たな実践的問題意識の反映を読み取ることができる。そしてBについては、たとえば大学内のジェンダー平等推進事例の地域への情報発信を図る事業(東京大学)、地域企業での女性リーダー育成を大学が調査や講座を通して支援する事業(熊本学園大学他)(昭和女子大学)、国際的ジェンダー課題啓発事業(広島修道大学)など、その主題や内容において従来にない新規の取組がさら進展していることが認められた。

【今後の展望】これらの成果を踏まえ、今後は本学における上記目的での地域拠点施設との連携事業の一層の推進をめざして様々な地域ニーズの方向性を丁寧に押さえ、先進好事例の情報収集と分析を継続的に行いつつ、ジェンダー平等に関する新規事業の可能性を探ることが重要と考えている。